

1951

対象疾患	肺動脈性肺高血圧症
使用する治験薬	マシテンタン（エンドセリン受容体拮抗薬） ＜フィルムコーティング錠＞
治験デザイン	<p>第Ⅲ相試験</p> <p>A 群：マシテンタン 10mg B 群：マシテンタン 75mg</p> <p>※ どの治療を受けるかにかかわらず、プラセボも服用します</p> <p>※ 医師や患者さんがどの群の治療を受けるかは選択できませんが、A 群または B 群のいずれかの治療を受けることになります。</p> <p>※ 「プラセボ」とは、治験薬と色や形が同じですが、有効成分は入っていません。プラセボと治験薬をそれぞれ使って、治験薬による効果と、プラセボを飲んだことによる心理的な効果を比べて、治験薬が本当に有効なものかを客観的に評価します。</p>
参加いただける患者さんの条件	<p>以下の条件を満たす方が対象となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 18 歳以上である 2) 肺動脈性肺高血圧症の確定診断がされている 3) 肺動脈性肺高血圧症以外に重大な肺疾患または心疾患がない 4) 中等度～重度の肝障害と判断されていない <p>※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。</p>
治験責任医師	薄井 莊一郎
治験依頼者	ヤンセンファーマ株式会社
備考(企業 HP 等)	